

ライチ種飛ばし 50人が距離競う

【大樹】「第2回全日本
ライチ種飛ばし選手権」(町
日台親善協会主催、北海道
新聞社協賛)が30日、町内
の晩成温泉で開かれた。「一



般男子の部」「小学生の部」
など4部門に十勝管内の約
50人が出場し、口に含んだ
種を力いっぱい飛ばした。
た。

町は3年前、同名の縁で
台湾の高雄市大樹区と友好
交流協定を締結。今秋には
大樹高が初の修学旅行を実

施するなど関
係が深まって
いる。親善協
会は、さらに
台湾を身近に
感じてもらお
うと、特産の
ライチを使っ
たイベントを
十勝管内から
約50人が参加
したライチ種
飛ばし選手権
の表彰式。ロ
ケットに仮装
した参加者も

考案した。

台風が接近中だった2回
目の今年も、あいにくの雨
となった。それでも一般男
子では前年同様に12分近く
の記録が出るなど、会場は
大いにわいた。
一般女子の部で準優勝し

た帯広市の上田紀恵さん
(48)はロケットに仮装し夫
の茂輝さん(56)と一緒に出
場。上田さんは「大樹町と
いえばロケット。『宇宙に
届け』と願いながら種を飛
ばしました」と話した。
(大能伸悟)